

# 美園トーク スタジオ

'24-25  
season

《意見交換成果とりまとめ》

## まちづくり意見交換会「美園トークスタジオ'24-25season」実施概要

- 日 時： 2025年3月15日(土) 10:00~12:00
- 開催方法： アーバンデザインセンターみその(UDCMi)
- 主 催： 美園タウンマネジメント協会、みその都市デザイン協議会
- 企画運営： (一社)美園タウンマネジメント



### 大学病院建設計画の中止について

- 整備・開業を期待していたので、残念である。

### 今後の土地利用への期待

- 医療機関は規模に応じて特性や地域への影響も変わってくるため、医療機関の整備検討が継続される場合は機能・規模等を慎重に検討いただきたい。
- 平日は都内通勤する住民も多いため、週末の癒しになるような機能が組み込まれることを期待したい。  
※郊外ならではの都市環境を生かした機能等。
- 綾瀬川に面している立地特性を活かした川沿いの空間づくり。
- どのような施設が整備されていくにせよ、街なかに現状不足する機能等が同施設内に組み込まれることを期待したい。

### まちに不足する機能等

- 子育て支援・教育施設。  
※酷暑の影響で、夏場は子ども達が屋外で遊べない。屋内で思いっきり遊べるような場所が少ない。
- 飲食店等  
※チェーン店が多いが、個人店規模の個性的な店が少ない。
- 温浴施設等  
※他都市事例：茨城県立カシマサッカースタジアム周辺。

### 施設整備に際しての懸念

- 敷地規模が大きいため、どのような施設が整備されていくにせよ、地域での日常生活への支障が生じないようにしてほしい。  
※道路渋滞の抑制  
※治安面への配慮

### ライフスタイルの変化等

●かつてに比べて今の子ども等は格段に忙しくなっている(習い事等)。同じくその親世代も忙しくなっている。

●そのことを前提条件に各種活動計画や主体間連携方策等を考えていく必要がある。  
※地域団体・組織が各々頑張っているが、それぞれ活動メンバー等が固定化してきていることが懸念される。

●対面でのコミュニケーション機会が増えることが理想だが、個々人の時間的制約が高まっていく世相の中で、どこまで代替手段(オンライン等)が機能できるか??

※イベントその他の情報を周知したい企画運営者等と、企画情報を求めている住民等と、その間のギャップがなかなか埋まらない。

### 地域特性等

●都市計画規制上で最低敷地面積が比較的広めに設定されているため、ゆとりを持って二世帯住宅等を建てやすい。

●年配の親世代と同居し始めた後、他都市・地域から移り住んできたケースでは、人によっては地域に溶け込む機会がなく、暮らしにくさ等を感じている事もある。

●転入前は東京都心部から距離が離れている点はデメリットとと思っていたが、商業施設等の利便性は高く、都内へも通いやすいため、今はデメリットとは思っていない。

●都内に比べると電車・バス等が混雑しておらず、ベビーカーで公共交通機関を使いやすい。

●個人店開業に至る手前の段階で、ワークショップ的に一時出店したい層は確実に存在する。  
※シェア店舗・シェアキッチン等スペースは無いが、需要はあるのではないか??

### ライフステージに応じたニーズ等

●年代に応じて必要なもの、欲しいものは変わる。

●子どもが幼少期：同年代の子どもを持つ親子が集まって過ごせる施設が少ないため、育休中の限られた時間で親同士の横のつながりを得るのが困難。

※イベント等を企画しようにも、美園コミセン会議室は予約に空きが無い。

●(他都市からの転入者も多いため)乳幼児をもつ夫婦の場合、子育てイベント等に参加しないと、地域内で知り合いが増える機会が無い。

●「住み続ける」という観点から見れば、足りない要素は多い。

●子どもが小学校低学年：外で遊べる(身体を動かせる)場所が少ない。埼玉公園や民間のスクール等に限られる。

●子どもが小学校高学年以降：大型図書館等を要望する声。  
※書籍数の不足。  
※学習スペースの不足。

●子どもが高校生：都内には通いやすくても、県内で高校立地数の多いエリアには通いにくい。鉄道路線を複数回乗り換えなければならない。  
※こうした立地条件は、受験産業内では当たり前になっている。

●年配層：買物等の「ちょっとした外出」をしようにも、交通手段が無いと外出が億劫になってしまい、最悪のケースでは引きこもり状態に陥ってしまうことも。